

科目名称	身体表現論			授業コード	20001422
担当教員	槌橋 雅博				
単位数	2.0	授業形態	講義	科目分類	科学・身体／身体・健康
年次	1	開講年度	2020	開講学期	後期
関連資格					
履修制限等					
授業の目的と到達目標(学修成果)	人間の身体表現の根幹を担う、演技理論、演出理論、身体論哲学の基本事項を理解し、自己作品の創作に活用できるようにする。				
授業の概要(内容)	芸術創造における身体の重大な意義を確認した後に、身体表現理論「スタニスラフスキー・システム」を解説する。さらに、タルコフスキーの演出理論、ニーチェとベルクソンの身体論哲学を解説し、美的創造において必要とされる身体表現の論理を教授する。必要に応じて、優れた演技・表現を含む作品のプレゼンテーションを行う。				
授業計画	1: 身体と芸術①: 美の創造における「絶対的根拠」としての身体 2: 身体と芸術②: 自己身体による直感が確立する美的価値判断 3: 身体と芸術③: 身体が世界にもたらす美的価値の普遍性(生命と宇宙) 4: スタニスラフスキーの演技理論①: 芸術としての演技 5: スタニスラフスキーの演技理論②: 役を生きる／肉体の自由 6: スタニスラフスキーの演技理論③: 知覚の記憶／感情の記憶 7: スタニスラフスキーの演技理論④: “Magic If”／役のリアリティー 8: スタニスラフスキーの演技理論⑤: 単位、レディエイション、スコアー 9: スタニスラフスキーの演技理論⑥: 「超目標」に向けて 10: タルコフスキーの演出理論①: 芸術映画とは何か 11: タルコフスキーの演出理論②: 時間の彫刻としての映画 12: タルコフスキーの演出理論③: 詩的映像と自由 13: 身体論哲学①: 精神の肉体への優位性という誤謬 14: 身体論哲学②: 精神と肉体の合一と新たな身体の可能性 15: 身体論哲学③: 「純粹持続」と「力への意志」: 人間の本質を如何に提示するか				
実務経験のある教員	映画監督、脚本家、撮影・録音・照明・編集技師、作曲家、ジャズミュージシャンとしての実務経験を活かし、演技・演出理論と身体論哲学のあらゆる領域に亘って、その本質および実践論を教授する。				
授業時間外学習	各回の授業後、各自で授業内容をまとめ、復習に励むこと。受講期間中、様々な映画・演劇を個々に鑑賞し、授業で学んだ演技・演出理論、身体論哲学を逐次確認することが望ましい。				
評価方法	授業で学習した演技理論、演出理論、身体論哲学に関する知識を用いて創作する課題作品とレポートによる評価				
課題・試験に対するフィードバックの方法	授業終了後、全体的な講評・模範解答等を、メール・印刷配布・掲示等で開示する。				
使用テキスト					
参考テキスト・URL	『俳優修業』コンスタンチン・スタニスラフスキー著 未来社 『アンドレイ・タルコフスキイ『鏡』の本』アンドレイ・タルコフスキー著 リプロポート社 『映像のポエジア』アンドレイ・タルコフスキー著 キネマ旬報社 『ツァラトウストラ』フリードリヒ・ニーチェ著 中央公論新社 『創造的進化』アンリ・ベルクソン著 筑摩書房 『オセロウ』ウィリアム・シェークスピア著 岩波書店 上記の他、授業中に随時紹介します。				
各自準備物	筆記用具等				
実習費					
その他					

科目名称	健康科学	授業コード	10002342
担当教員	岡本 香代子		
単位数	2.0	授業形態	講義
年次	1	開講年度	2020
関連資格	教職	科目分類	科学・身体／身体・健康
開講学期	前期		
履修制限等			
授業の目的と到達目標(学修成果)	定期的な運動が持つ効果について知識を深め、健康の保持増進に役立てることができる。さらに、健康寿命の延伸に必要な知識を理解し、生涯にわたって健康の自己管理ができる能力を身につける。		
授業の概要(内容)	人生100年時代、生活習慣病だけでなく、加齢に伴う生活機能低下を防ぐ対策が重要課題となってきた。健康寿命を延伸するために、日常生活でいかに健康管理を行うかについての関心が高まっている。本講義では、疾病構造の変化と身体活動・運動不足の関連性、身体運動のメカニズム、および健康度の一つの尺度となる体力・日常動作について理解を深めると同時に、運動が生活習慣病予防・介護予防に役立つ科学的根拠について学ぶ。さらに、生涯にわたる健康管理の進め方と実際についても理解を深める。		
授業計画	1: 現代の健康科学 2: 疾病構造の変化と健康 3: 運動不足と健康への影響 4: 姿勢の健康科学 5: ストレッチの科学 6: 必要運動量と各種運動消費カロリー 7: 身体運動のメカニズム 8: トレーニングと筋:レジスタンス運動 9: 健康のための運動処方:トレーニングメニュー 10: 老化に伴う身体機能の変化 11: 発育発達期の健康 12: 心の健康科学 13: 食生活と栄養:ダイエットの科学 14: 健康管理の進め方と実際 15: 健康科学のまとめ		
実務経験のある教員			
授業時間外学習	健康に関心を持つことは重要である。体と心に関する科学的な知識を身につけること。		
評価方法	授業中に実施するテスト60%、課題提出30%、平常点(受講態度・授業のコメントシート)10%		
課題・試験に対するフィードバックの方法	次回の授業日でテストの解説をし、提出された課題等をコメントをつけて紹介する。		
使用テキスト	必要に応じて配布する。		
参考テキスト・URL			
各自準備物			
実習費			
その他			

科目名称	スポーツ実技 ①②⑤⑥	授業コード	20602122
担当教員	中尾 泰史		
単位数	1.0	授業形態	実技
年次	1	開講年度	2020
関連資格	教職	科目分類	科学・身体／身体・健康
履修制限等	「その他」参照	開講学期	前期 / 後期
授業の目的と到達目標(学修成果)	<p>1.積極的にスポーツに取り組み、自身のからだを理解することができる。</p> <p>2.実践するスポーツ、レクリエーションスポーツの基本が習得できる。</p> <p>3.学生同士が協力しあい、主体的にスポーツを展開できる。</p>		
授業の概要(内容)	<p>球技を中心としたレクリエーションスポーツ(バレーボール、バスケットボール、サッカー、バドミントン、卓球、トレーニング等)を通じ、自身の体力、体調を把握する能力を養う。</p> <p>また心身の健全な発育、発達に対する気づきを高め、生涯における運動実践の重要性を知る。</p> <p>さらにチーム単位で行う練習やルールの取り決めなどを経て、他者とのつながりを築くためのコミュニケーション能力、協調性といった社会的教養も学ぶ。</p>		
授業計画	<p>1:オリエンテーションスポーツ種目選択</p> <p>2:スポーツAルール、練習内容確認</p> <p>3:スポーツA基礎技術個人単位</p> <p>4:スポーツA基礎技術チーム単位</p> <p>5:スポーツA基礎練習個人単位</p> <p>6:スポーツA基礎練習チーム単位</p> <p>7:スポーツAゲーム形式</p> <p>8:スポーツAリーグ戦トーナメント戦</p> <p>9:スポーツBルール、練習内容確認</p> <p>10:スポーツB基礎技術個人単位</p> <p>11:スポーツB基礎技術チーム単位</p> <p>12:スポーツB基礎練習個人単位</p> <p>13:スポーツB基礎練習チーム単位</p> <p>14:スポーツBゲーム形式</p> <p>15:スポーツBリーグ戦トーナメント戦</p>		
実務経験のある教員	<p>スポーツ選手の体力評価、大阪市消防、企業、団体、グループの体力テスト(講習)および運動・スポーツ指導経験を活かし、一般学生に適したレクリエーションスポーツの実践方法を指導していく。</p>		
授業時間外学習	<p>積極的な身体活動ができるよう、食事、睡眠など自身の健康管理と体調を整えておくこと。</p> <p>選択種目のルールは十分把握し、競技ごとの共有事項(試合時間、点数、チーム編成、対戦)を事前に確認しておくこと。</p> <p>授業前に必ずストレッチや体調に関するセルフチェックを済ませておくこと。</p>		
評価方法	<p>選択スポーツ種目の技術習熟度20%、レポート(授業内レポート含)30%、平常点50%によって評価する。平常点とはスポーツへの取り組み度・姿勢、受講態度、グループワーク貢献度など。ただしレポートを提出しない場合や欠席が4回以上(やむを得ない事情以外)ある場合は、単位取得ができないので注意してください。</p>		
課題・試験に対するフィードバックの方法	<p>スポーツで必要とされる専門技術の習得については、各自の体力、運動能力にあわせ無理がないよう指導する。</p>		
使用テキスト	<p>特にテキストはないが、必要な場合は配布する。インターネット等で選択したスポーツのルールと簡単な専門技術を確認しておくこと。</p>		
参考テキスト・URL	<p>・スポーツルール.com https://www.sports-rule.com/</p> <p>・競技団体のホームページ</p>		
各自準備物	<p>ジャージ、短パン、Tシャツ等、運動ができる服装と室内/屋外用(ひも付き)シューズ、コンタクト、スポーツ用ゴーグル</p>		
実習費	<p>なし</p>		
その他	<p>・授業に出席してもスポーツに参加しない場合は、欠席扱いとなる。</p> <p>・必ず運動用の服装(ジャージ、Tシャツ、短パン等)と室内シューズ(ひも付)を着用すること。</p> <p>・授業中は、安全上、アクセサリ(ピアス、ネックレス、指輪、時計、めがね)は外すこと。</p> <p>・視力が悪い人はコンタクトレンズやスポーツゴーグルを着用すること。</p> <p>・病気や体調不良によってやむを得ず見学しなければならない場合、事前に申し出ること。</p> <p>・持病やけがのある場合、必ず申し出ること。</p> <p>・履修希望者が多い場合は、抽選により履修者を決定する。</p>		

科目名称	スポーツ実技 ③④⑦⑧			授業コード	20802122
担当教員	岡本 香代子				
単位数	1.0	授業形態	実技	科目分類	科学・身体／身体・健康
年次	1	開講年度	2020	開講学期	前期 / 後期
関連資格	教職				
履修制限等	「その他」参照				
授業の目的と到達目標(学修成果)	<p>スポーツの意義を理解し、協調性・積極性を身につける。</p> <p>各種スポーツの基本技術・ルールを理解し、チームで練習・試合を実践できるようになる。</p> <p>生涯にわたるスポーツを自主的・継続的に取り組む能力を養うことを目標とする。</p>				
授業の概要(内容)	レクリエーション・スポーツという名のもと、仲間と一緒にスポーツをデザインする経験をつむ。各種スポーツ(バドミントン、卓球、テニス、バレーボール、バスケットボール等)を通して、コミュニケーション能力を身につけ、豊かな人間性を育成する。健康の保持増進と体力・運動能力の向上を目指し、生涯スポーツを視野に入れたスポーツの在り方を学ぶ。				
授業計画	<p>1: ガイダンス</p> <p>2: エクササイズ①(柔軟性)</p> <p>3: エクササイズ②(全身持久力)</p> <p>4: エクササイズ③(筋力・バランス)</p> <p>5: レクリエーションスポーツ①(基本技術・運動ゲーム)</p> <p>6: レクリエーションスポーツ②(基本技術・運動ゲーム)</p> <p>7: レクリエーションスポーツ③(基本技術・運動ゲーム)</p> <p>8: 各種スポーツの基礎①(基礎練習・ルールの説明・ゲーム)</p> <p>9: 各種スポーツの基礎②(基礎練習・ルールの説明・ゲーム)</p> <p>10: 各種スポーツの基礎③(基礎練習・ルールの説明・ゲーム)</p> <p>11: 各種スポーツの試合①(ネット型ゲーム・シングルス・ダブルス)</p> <p>12: 各種スポーツの試合②(ネット型ゲーム・シングルス・ダブルス)</p> <p>13: 各種スポーツの試合③(ゴール型ゲーム・トーナメント・リーグ戦形式の試合)</p> <p>14: 各種スポーツの試合④(ゴール型ゲーム・トーナメント・リーグ戦形式の試合)</p> <p>15: 全体のまとめ(健康と生涯スポーツ)</p>				
実務経験のある教員					
授業時間外学習	食事と睡眠を十分に取り、体調の維持に努め、積極的、自主的な態度をもって受講すること。				
評価方法	平常点(スポーツへの取り組み姿勢・受講態度・グループワークにおける貢献度)70%、課題30%				
課題・試験に対するフィードバックの方法					
使用テキスト	必要に応じて配布する。				
参考テキスト・URL					
各自準備物	ジャージ、短パン、Tシャツ等、運動ができる服装と室内／屋外用(ひも付き)シューズ				
実習費					
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に出席してもスポーツに参加しない場合、出席が確認されない場合は欠席扱いとする。 ・必ず運動用の服装(ジャージ、Tシャツ、短パン等)と室内シューズ(ひも付)を着用すること。 ・授業中は、安全上、アクセサリ(ピアス、ネックレス、指輪、時計)は外すこと。 ・病気や体調不良によってやむを得ず見学しなければならない場合、事前に申し出ること。 ・持病やけがのある場合、必ず申し出ること。 ・履修希望者が多い場合は、抽選により履修者を決定する。 				

科目名称	ダンスワークショップ①②			授業コード	10202530
担当教員	谷下 加月夫				
単位数	1.0	授業形態	実技	科目分類	科学・身体／身体・健康
年次	1	開講年度	2020	開講学期	前期
関連資格					
履修制限等					
授業の目的と到達目標(学修成果)	音楽を聴き、リズムによって心と体をコントロールし、数種類のダンスを踊れるようになる。また、踊る事の楽しさ、難しさ、開放感、達成感等を理解し、物事に取り組む姿勢、周囲との調和や差異を体験する。				
授業の概要(内容)	ビートニック音楽に合わせて踊る事で得た躍動感・高揚感・リズム感は、他のスポーツ・音楽・リズム・メロディ等にアプローチする時に大きな影響を与える。それは、アフリカ民族独特の高度なリズムパターンと、重心移動やオン・オフバランスを伴った動きの連係作業を経験する事により、東洋人に慣じみの薄い新たな運動パターンや情緒感を体得できるからである。授業においては、基本動作やリズム取りから始めて、各ジャンルの特徴ある振り付けを踊る事でそれを体験してもらう。また、生理学、解剖学等を利用した効率のよい、科学的なアプローチをするストレッチにも触れてもらう。				
授業計画	1: ウォームアップエクササイズ、リズム取りとシフトウェイト 2: ウォームアップエクササイズ、リズム取りと基本ステップ 3: ヒップホップ基本のノリとショートコンビネーション-1(振付前編) 4: ヒップホップ基本のノリとショートコンビネーション-2(振付中編) 5: ヒップホップ基本のノリとショートコンビネーション-3(振付後編と通し) 6: ハウス基本ステップとショートコンビネーション-1(振付前編) 7: ハウス基本ステップとショートコンビネーション-2(振付中編) 8: ハウス基本ステップとショートコンビネーション-3(振付後編と通し) 9: ロッキング基本動作とショートコンビネーション-1(振付前編) 10: ロッキング基本動作とショートコンビネーション-2(振付中編) 11: ロッキング基本動作とショートコンビネーション-3(振付後編と通し) 12: 機能解剖ストレッチ-1(肩)とティッキングとウエーブ(腕)とムーンウォーク(後ろ)時にポッピング 13: 機能解剖ストレッチ-2(肩)とティッキングとウエーブ(腕、胴体)とムーンウォーク(後ろ、横)時にポッピング 14: 機能解剖ストレッチ-3(前屈)とティッキングとウエーブ(腕、胴体)とムーンウォーク(後ろ、横、回転その他)時にポッピング 15: 総復習				
実務経験のある教員	ダンス指導30年(1万5千クラス)以上、機能解剖学系クラス9年以上の実務経験から人体の動きを総合的に観てバランスの取れた指導をする。				
授業時間外学習	HipHop,House,Funkといったジャンルの音楽を聴き親しんでおくこと。				
評価方法	実技、理解度 出来ない事ができるようになったか、または出来る事を更に解釈を深めて表現出来るようになったか、またその努力をしたか。				
課題・試験に対するフィードバックの方法					
使用テキスト					
参考テキスト・URL	https://ja.wikipedia.org/wiki/ヒップホップ				
各自準備物	運動着、運動靴				
実習費					
その他	音楽とダンスを楽しむこと。 出席が10回に満たない場合はE評価となり、見学と遅刻早退は2回で出席1回と数える。				